

住宅用火災警報器の奏功事例



島原広域消防本部管内で実際に発生した事例を紹介します



	発生日時	出火場所	建物の概要	焼損程度	原因	概要等
事例 1	平成 22 年 12 月	雲仙市 国見町	木造 2 階建	非火災	ガスコンロの消し忘れ	ガスコンロに鍋をかけたままその場を離れたため、煙が発生して住宅用火災警報器が鳴動。近くを通りがかった小学生が鳴動音に気付いて母親等に知らせて発見、すぐに火を止めたため、火災には至らなかった。 
事例 2	平成 23 年 8 月	南島原市 西有家町	木造 2 階建	非火災	ガスコンロの火が天板や受け皿の油かすに着火	ガスコンロにやかんをかけたままその場を離れ 2~3 分経過後、住宅用火災警報器が鳴動したため確認すると、天井付近に煙が漂っていたのでガスコンロの火を止めて水をかけて消火した。 
事例 3	平成 23 年 9 月	島原市	木造 2 階建	非火災	ガスコンロの消し忘れ	ガスコンロに鍋をかけていることを忘れ、そのまま外出。隣人が焦げ臭さと住宅用火災警報器の鳴動音に気づき、119 番通報したもの。鍋の内容物が焦げただけで、火災には至らなかった。 
事例 4	平成 26 年 7 月	南島原市 西有家町	木造 1 階建	ぼや	たばこの火の不始末	たばこの吸殻をティッシュペーパーにくるんでごみ箱に捨てたため、ベッドへと延焼、隣人が煙と住宅用火災警報器の鳴動音に気づき、窓が開いていたため、消火器と水道ホースにより初期消火を行なった。 
事例 5	平成 26 年 11 月	雲仙市 瑞穂町	木造 1 階建	非火災	IH ヒーターの消し忘れ	IH ヒーターに鍋をかけたままその場を離れたため、煙が発生して住宅用火災警報器が鳴動。鳴動音に気づきスイッチを切ったため火災には至らなかった。 
事例 6	平成 27 年 5 月	南島原市 有家町	コンクリート ブロック造 2 階建	ぼや	たばこの火の不始末	たばこを布団の上で吸った際、何らかの原因で火種が布団に落下した事に気付かず外出、数時間後に発火したものと推定される。近隣者が住宅用火災警報器の鳴動音に気づき、近隣住民に知らせ、協力して通報及び消火を行った。 

	発生日時	出火場所	建物の概要	焼損程度	原因	概要等
事例7	平成28年 6月	南島原市 有家町	木造 2階建	非火災	ガスコンロの消し忘れ	<p>ガスコンロに鍋をかけたまま、他の作業をするためにその場を離れ、コンロに鍋をかけているのを忘れたため、煙が発生して住宅用火災警報器が鳴動。煙と住宅用火災警報器の音に気付いた住人が、近隣者に通報を依頼したものの。</p> <p>なお、過熱防止機能によりコンロの火が自動的に消えたため、火災には至らなかった。</p>
事例8	平成28年 8月	南島原市 加津佐町	木造 2階建	非火災	コンデンサの経年劣化	<p>作業場併用住宅において、作業場の播漬機(らいかいき)用ブレーカーのコンデンサが経年劣化により発熱、溶融して煙が発生し、住宅部分の階段に設置していた住宅用火災警報器の警報音により気付いたものの。</p> <p>なお、作業場に煙が滞留していたが、煙の発生元を発見できなかったため消防へ通報したものの。</p>
事例9	平成28年 11月	島原市	木造 2階建	非火災	ガスコンロの消し忘れ	<p>カセットガスコンロに鍋を掛けているのを忘れたまま外出したため、鍋から煙が発生して住宅用火災警報器が鳴動。煙と住宅用火災警報器の音に気付いた隣人が発見し、通報したものの。</p> <p>なお、鍋の内容物が焦げただけで、火災には至らなかった。</p>
事例10	平成29年 5月	南島原市 加津佐町	木造一部 鉄骨造 2階建	部分焼	電気配線の経年劣化による短絡	<p>仏間に設置している住宅用火災警報器の鳴動音に気付き、仏間を確認すると、仏壇の脇から炎があがり黒煙が充満しているのを発見し、妻と協力して消火を行ったもの。</p>
事例11	平成29年 9月	南島原市 口之津町	鉄筋コンクリート造 3階建	ぼや	ガステーブルの魚焼きグリルの消し忘れ	<p>台所のガステーブルの魚焼きグリルを使用して調理している最中に居眠りし、居間に設置してある住宅用火災警報器の鳴動音に気付き、台所へ行くと黒煙が充満しているのを発見し、消火を行ったもの。</p>
事例12	平成30年 3月	雲仙市 国見町	木造 2階建	部分焼	炊飯器のコードが短絡し、付近の紙類に着火	<p>庭で作業中、台所から住宅用火災警報器の警報音が鳴動していることに気付き台所へ行くと、煙が充満しており床に転がった炊飯器付近から炎が出ていた。騒ぎに気付いた隣人が駆け付け、消火及び通報を行ったもの。</p>



	発生日時	出火場所	建物の概要	焼損程度	原因	概要等	
事例 13	平成 30 年 7 月	島原市	木造 2 階建	全焼	たばこの火の不始末	<p>長屋住宅の居住者が、就寝中に煙の臭いと住宅用火災警報器の鳴動音で目を覚まし、確認の為に屋外へ出ると、長屋住宅の一室から黒煙が出ているのを確認し、通報したものの、なお、黒煙が出ていた部屋の居住者は外出中であった。</p>	
事例 14	平成 31 年 4 月	南島原市 口之津町	木造 2 階建	非火災	ガスコンロの消し忘れ	<p>台所で鍋をガスコンロに掛けたままその場を離れたところ、屋外が騒がしくなり、慌てて台所へ戻ると白煙が充満していたため、ガスコンロの火を消したものの、隣人が住宅用火災警報器の警報音に気付き、窓からは白煙が出ていたことから火災と思い通報したものの、なお、鍋の内容物が焦げたのみで、火災には至らなかった。</p>	
事例 15	令和 2 年 7 月	島原市	木造 2 階建	非火災	たばこの火の不始末	<p>居住者が喫煙後、たばこの吸殻をポリ袋に入れ、室内のごみ置き場に放置して外出したため、ごみが燻り、煙が発生して居室に設置していた住宅用火災警報器が鳴動したものの、通りがかりの高校生が、煙の臭いと住宅用火災警報器の鳴動音で共同住宅の 1 室から白煙が出ているのを発見し、近隣住宅に駆け込んで通報を依頼し、火災には至らなかった。</p>	
事例 16	令和 2 年 9 月	島原市	木造 2 階建	ぼや	洗濯物が石油ストーブの上に落下し、発火	<p>家主が、リビングでテレビを見ている時、住宅用火災警報器の鳴動音に気付き、廊下に出ると、別室で洗濯物を乾かすために点火した石油ストーブから煙と炎が出ているのを発見したため、妻と協力して、水をかけて消火したものの。</p>	
事例 17	令和 3 年 12 月	雲仙市 国見町	木造 1 階建	非火災	ガスコンロの消し忘れ	<p>味噌汁をガスコンロで温めている際、一時的に庭へ出ていたところ、鍋内の水分が蒸発して無くなり、鍋内が焦げ、煙が発生したものの、家人が庭から屋内に戻った際、住宅用火災警報器の鳴動音により屋内の煙に気付き、直ちにコンロの火を消したため、鍋の内容物が焦げたのみで、火災には至らなかったものの。</p>	
事例 18	令和 4 年 12 月	南島原市 深江町	木造 1 階建	ぼや	新聞紙が石油ストーブの上に落下し、発火	<p>居住者が入浴中、住宅用火災警報器の鳴動音に気付き風呂から出ると、室内に煙が充満しており、台所及び居間の住宅用火災警報器が鳴動していた。居間内を見に行くと、石油ストーブ周辺の物品が燃えていたため、バスタオルで消火したものの。</p>	

	発生日時	出火場所	建物の概要	焼損程度	原因	概要等	
事例19	令和5年 3月	雲仙市 瑞穂町	木造 2階建	非火災	カセットコンロの 消し忘れ	<p>鍋をカセットコンロの火にかけているのを忘れて、別室で長電話をしていたところ、住宅用火災警報器が鳴動し、鳴動音に気付いた住人が発報箇所を探すも、見つけることができなかった。</p> <p>住人が近隣者に協力を求め、家の中を探すと、台所の住宅用火災警報器が鳴動しており、鍋から煙が出ているのを発見、鍋に水を入れると煙はおさまった。</p> <p>なお、鍋の内容物が焦げただけで火災には至らなかった。</p>	
事例20	令和7年 5月	南島原市 加津佐町	木造 2階建	非火災	I Hコンロの 消し忘れ	<p>I Hコンロで食材を温めていることを忘れて、居間にいたところ、住宅用火災警報器が鳴動し、警報音を聞きつけた隣人が換気扇から出る煙を見つけて通報したものの、コンロを止めたのみで初期消火なし。鍋の内容物が焦げただけで火災には至らなかった。</p> <p>なお、住人は、耳が遠く警報音に気付いていなかったもの。</p>	

★ 設置すべき場所、全国の奏功事例など、詳しくは [こちら](#) をご覧ください ★